

平成 24 年 1 月 11 日
記者発表資料

九都県市（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市）同時発表

第 6 回九都県市合同防災訓練・図上訓練及び

平成 23 年度神奈川県・湘南地域 5 市 3 町合同図上訓練の実施について

未曾有の大災害となった東日本大震災により、多くの生命と財産が失われました。

マグニチュード 7 程度の首都直下地震は、今後 30 年間の発生確率は 70% で発生するといわれており、首都機能を担う九都県市（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市）は連携して大震災に対し十全の備えを講ずることが求められています。九都県市は、この点を十分認識し、共通の課題として災害対策に力を入れる必要があります。

上記を踏まえ、九都県市は、合同で防災関係機関等と一体となった総合的かつ実践的な訓練を実施します。

また、神奈川県では、この訓練の実施にあわせて、地震が発生した際の神奈川県と湘南地域 5 市 3 町（平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町）との連携体制の検証及び強化並びに災害対策本部等における情報収集・分析・判断等の対応能力の向上を図ることを目的として、防災関係機関と一体となった総合的かつ実践的な訓練を実施します。

1 目的

- (1) 九都県市相互応援協定に基づく九都県市広域防災プラン（震災編）の検証
- (2) 各都県市の地域防災計画、防災関係機関の作成する災害応急対策に係る規定等の課題の抽出
- (3) 各災害対策本部等における情報収集・分析・判断等の対応能力の養成
- (4) 神奈川県及び湘南地域 5 市 3 町との連絡調整機能の検証及び連携の強化

2 訓練のテーマ

『九都県市相互の連携』

『神奈川県、湘南地域 5 市 3 町及び防災関係機関との連携』

3 実施日・場所

- (1) 実施日時

平成24年1月16日(月) 10:00~15:00

(2) 会場

東京都庁(九都県市応援調整本部)
神奈川県庁第二分庁舎 5階執務室
湘南地域5市3町 各執務室

4 主な訓練項目

(1) 九都県市連携における検証

- ① 九都県市間情報収集・整理要領
- ② 九都県市応援調整本部設置・運営
- ③ 救援物資・資機材搬送調整
- ④ 九都県市間の緊急輸送路の確保
- ⑤ 医療救護応援調整
- ⑥ 広域医療搬送調整
- ⑦ 帰宅困難者対策

(2) 神奈川県又は湘南地域5市3町連携における検証

- ① 情報収集・整理・提供
- ② 帰宅困難者対策
- ③ 救援物資調達調整
- ④ 緊急輸送路の確保
- ⑤ 救出救助・消火対応調整
- ⑥ 広域応援調整
- ⑦ 医療救護応援調整
- ⑧ 避難所設置対応調整

5 訓練参加機関

- (1) 九都県市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市)
- (2) 湘南地域5市3町(平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町)、各5市3町消防本部、横浜市消防局、川崎市消防局、相模原市消防局
- (3) 各都県市の訓練計画に基づく、警察、消防、ライフライン機関、その他防災関係機関等

6 訓練の方法

(1) 訓練の形式

図上訓練形式(訓練を統括するコントローラーが時間を追って与える状況に従い、訓練参加者(プレーヤー)自身が情報の収集、状況判断、対応策等の検討を行い、災害対応に関する業務遂行能力の向上を図る)

(2) フェーズの設定

発災18時間後から23時間後を想定して訓練を実施します。

7 想定地震

(1) 地震のタイプ

神縄・国府津－松田断層帯地震

(2) 発災日時

平成24年1月15日 16時00分（平日想定で実施）

(3) 震源

相模湾北部

(4) 規模等

マグニチュード7.5

（中央防災会議「首都直下地震対策専門調査会」発表の想定地震による。）

※ 取材について

安全防災局危機管理部参事（訓練担当）が訓練当日16時30分以降に県庁第二分庁舎6階災害対策本部室で取材に対応しますので、訓練中の職員等への取材はご遠慮願います。

なお、訓練中の写真撮影は可能ですが、訓練に支障の出ない範囲でお願いいたします。

<問い合わせ先>

神奈川県安全防災局危機管理部

参事（訓練担当） 尾崎

電話（045）210-3461(直通)

危機管理対策課訓練グループ 市原

電話（045）210-3433(直通)